

令和4年度第4回 旧国立駅舎運営連絡会議事録（要旨）

日 時：令和5年3月23日（木）19時00分～21時00分

場 所：旧国立駅舎展示室

出席委員：磯部委員、佐藤委員、鈴木委員、洪委員、藤本委員、中村委員、宮崎委員

欠席委員：落合委員、木村委員、秋田委員、藤田委員

事務局：都市整備部 北村部長

国立駅周辺整備課 外立係長、藤堂係長、後藤主任

旧国立駅舎まち案内所スタッフ 磯貝チーフ

議事録（要旨）

○事務局 それでは、定刻になりましたので、旧国立駅舎運営連絡会、令和4年度第4回を始めたいと思います。それでは、いつものように開会の挨拶を鈴木会長からお願いいたします。

○鈴木会長 皆さん、どうぞよろしく申し上げます。

今日、ほんと盛りだくさんでして、この利活用レポートもこんなに厚いです。私もこの間、3月21日火曜日に、デザインアイデアコンペというシンポジウムに出てまいりました。その辺りのお話ができればと思うのですが、2期目の任期が本日で終わりますので来年度から何するかというのを、確認していけたらいいのかなと思っていますので、よろしく願いいたします。

では、早速、藤堂さん。

事務局より資料に沿って「本日の流れ」「運営連絡会第3期委員について」「今年度の振返り、来期に向けて」の説明があった。

続いて「旧国立駅舎<利活用>レポートvol.13」に沿って説明があった。

○鈴木会長 ありがとうございます。何かいっぱい質問したくなりませんか

○佐藤委員 イベントがどういう基準で有料と無料になっているのかというのをざっくり教えていただきたいです。

○事務局 営利であれば有料、非営利であれば無料と条例上で規定されています。主たる目的が非営利であれば、非営利と認められることが多いです。例えばプロのミュージシャンの方が観覧無料のコンサートを開いて、MCの中で、他所で開催を予定している有料コンサートの案内をする程度であれば非営利として扱っています。ただしその有料コンサートのチケットを売買するなどその場で金銭の授受が生じる場合は営利とみなしています。

○佐藤委員 ありがとうございます。次の質問です。49ページ、イベントに合わせて購入と、テントと机、丸椅子とあるのですけれども、それ以外にも、例えばここでパネル展示するときとか、これ欲しいなみたいな感じのリクエストとかあったと思うのですが、どんなリクエストがあるのかなというのと、何でこれは購入するに至ったのかなということを知りたいです。

○事務局 リクエストで一番多いのは、長机と、展示用の有孔ボードが一番多いです。テント、長机、イスを購入した経緯は、屋外の使い方を考えようというのがまず大前提としてあって、試験的に屋外を使用することになりました。それに合わせて、テントとか長机を出店者さんに用意していただくのはハードルが高くて、申し込む方もいないのではないかとということになり市が用意することになりました。

○佐藤委員 ありがとうございます。やっぱり有孔ボードとかそういうパネルみたいなのはリクエストとして多いですか。

○事務局 多いですね。

○佐藤委員 それは購入する予定とかありますか。いや、自分もイベントをやったとき、やっぱり必要だなというのは大いに感じて、あるといいなど。

○事務局 必要性は感じていますが現状だと購入は厳しいです。テント、長机、丸椅子を買ったところで保管場所の空きがなくなってしまうました。旧駅舎の中でこれ以上大型の備品を保管することは無理なので、そこは課題かなという感じです。

○佐藤委員 分かりました。ありがとうございます。

○磯部委員 質問いいですか。屋外スペースの試験的運用が3月末までとありますが残りの期間でどんな出店が予定されていますか

○事務局 26日が最後なのですけれども、旭通り商店街さんが切手とカレーパンの販売、それとクミタテというシェア工房の団体様が国立市の伐採された桜を利用したクラフト製品の販売を行う予定です。

○磯部委員 なるほど。何でかという、おとといのシンポジウムを私、実は見ていたのです。それで、商工会の会長が出られたのですが、その話を聞いていて私が受けた印象としては、やはり実利がないと、なかなか難しいところもあるのかなと感じました。

そういった意味で、その辺の空気感はどうなのかなということに興味があるのです。

○事務局 実は、3月末までが実証期間なので、それが終わって、市と商工会で総括をしてからが正式な回答になるかと思えます。現時点での所感というレベルでお答えすると、実はもともとこれ11月から始めて5か月になります。屋外スペースの物販を解禁したら、みんな使ってくれるのではないかと期待がすごくあったのですが、結果としては実はすごく少なかったのです。ここに書いてある3日間とあと3月末の合計4日間しか使われなかったというのが結果になります。

11月に始めてすぐ寒くなってしまい、販売がしにくかったことも原因の一つかもしれません。

○洪委員 商工会に加入するには条件が幾つかあるので、加入していない店舗も市内にたくさんある。あと例えば旭通りの結構奥のほうに新しいお店がちょこちょこできているので、ああいう人たちに声をかけたほうが、お店をここで知ってもらって、奥のほうにありますよというのを知ってもらう効果があると思う。逆に近い店舗さんだと、多分さつきおっしゃったような売上げだったりとか、お店を開けてまでこっちですするというのは難しいのかなと思うので、ちょっと遠い、谷保とか矢川みたいなどころとか、その商工会という区分けでないほうが、ゆくゆくは良いと思いました。

○事務局 商工会さんには出店者の取りまとめをお願いしただけで、商工会に加入していることを出店条件にしたわけではないです。今のお話を聞いていると、もしかしたらそのあたりがお店の方々に伝わりきらずに誤認していた方もいたのかもしれない。

○洪委員 でも、やっていることは今後が続からいいと思います。だから、それをどう総括して次

に活かすかではないですか。

○鈴木会長 商店会に入れる未満商店の会みたいなのをつくるとかですか。

○宮崎委員 立川で輝く個人商店という表彰が支持されていて、それ、たまたま私大好きなカレー屋さんが入ったのですけれども、「商店会に入ってたっけ？」と聞いたら、何も入ってないと。本当に市民の人が選んで表彰されたので、それは別にそういう枠がなく、何かそんなのを国立でできたらいいですよ。人気とも違うのですけれども、自分が応援したい個人商店とかが表彰されて、それがまた駅舎のところで紹介されたりするとそういうのもありかなと……。

○事務局 商店会を越えた取組としては、ワインやビアガーデンなどは業種ごとで広がりつつあるかとは思いますが。

○鈴木会長 質問、ほかにございますか。

○洪委員 いいですか。多分前も聞いたような気がする、一番最初のページ、2ページ目で、まずスペース利用率が94.8でほぼ使われているのだなというのと、あと気になったのは、まちの案内業務で、まちの見どころ案内があるではないですか、回遊性というのが。多分今の話にも係るのですけれども、ここでどんなことをされて、やはりここは公平性の話があるので、どういうところを紹介できるのだろうかというので、逆に個人のお店とか紹介しづらさがあったりするのかなとちょっと気になったのですがどうしていますか。

○事務局 個人のお店でもご紹介しています。ただし全国的なチェーン店を外して、国立に来ないと行けないお店を中心にご紹介しています。

○洪委員 窓口の問合せはどういったものがありますか

○事務局 ありとあらゆる問合せが来るのですけれども、それこそトイレの場所だったり、バス停の場所だったり、そういったところから、意外とお店とかは思ったよりは少なかった。やはり皆さん、若い方だと検索して行ってしまうことが多いので、逆にテレビなどで紹介された後にご年配の人たちが「あそこはどこだったの？」という感じで反応は見られます。あと、やはりコロナが収まってきましたので、本当に初めて来ましたみたいな方でお昼まで3時間どう過ごせばいいの、どこへ行けばいいのというような漠然とした質問があったりします。

○洪委員 ありがとうございます。

○鈴木会長 イベントのテーマ設定とか、このテーマは意外と面白いけれども、このテーマはちょっととか、ちょっと空いたからこれと呼んでくるとか、そういういろいろなアイデアがあると思うのですけれども、そういう意味では苦労していることとかあったりしますか。

○事務局 そうですね、例えば資料のイベント番号24番、府中の事業者をお声がけて来ていただきました。これやってみると、今までやってこられなかったコーヒーの試飲会とか、ラジオの公開収録とか、がらくた楽器の誰でも参加できる場所とか、すごく面白かったのです。そういった新たな取り組みとかがもう少しできたらとは感じました。

○鈴木会長 もともとこの連絡会始まるときに、キュレーションではないですけれども、どういう時期にこういうのがあるといいですねというような、1年間こんなふうにしていくといいですねみたいなことをできたらという話がありました。現状引く手あまたな状況ですけれども、とりあえず空いているところに入れていくというのだともったいなくて、並べ方次第で相乗効果を生んだりとか、そんなことも何かありそうだなと思うので、何かもしかすると当初想定していたようなお手伝いの仕方を来年からできるのかなと思ったりしました。

ほかにご質問、大丈夫ですか。では、先へ進めますか、外立さん、お願いします。
事務局より資料に沿って「国立駅南口駅前広場のイベントについて」「国立駅南口駅前広場の整備について」「国立駅南口駅前デザインアイデアコンペ」について説明があった。

○事務局 駅前らくがき広場の報告を佐藤委員よりお願いします。

○佐藤委員 はい、駅前らくがき広場の報告をします。まず最初にこれは本当にすみませんでした。第一声で、あまり深く考えないでやってしまって、片づけに市役所の皆様及び警備員の皆さんをフルで駆り出すような形になってしまって、申し訳ありませんでしたが第一声です。

何やったかという、テープを使っての壁への落書きと床の落書きなので、準備があまり要なくて、駅前が華やかになって、子どもがいっぱい出るから子どもが楽しめるのがよかろう、金もかかんないのがよかろうということでやりました。やったのが6日の1日だけですね。結果として、これ人数なのですが、常に子どもが山ほどいるという状態だったので、子どもに楽しんでもらうという面から見ると大成功だったかなと思います。あとはやっぱり遠くから見てもかなり高い位置に大人が書いてくれたりして、ぱっと見で分かったので、「ああ、楽しいことやっているし、駅前こんなふうに使っていいのだ」「自由に使ってもいいじゃん」的などのアピールはできたかなと考えております。

トラブルなのですが、これも意外だったのですけれども、ごみのポイ捨てとかそういったのはほとんどなくて、マナーが極めてよかった。これは天下市全てのことなのか、ちょっとイベント全体像は全然見えてないのですけれども、この広場に関しては非常に使い方がきれいにできていた。ここはちょっと自分も不思議なところではあります。

あと、駅舎内イベント、これがNFT、これは書いたデータをデジタルデータにして、それを仮想通貨なんかと同じような技術で世界に1つのものができるというものです。それを使ってあなたの書いたものをデジタル化しようというイベントだったのですが、後で主催者と話し合ったのですが、ちょっとこれ難しかったなというのが正直なところですね。技術としてすごく難しかったので、外でやっているのは低学年の子の落書き、しかもキャラクターものというところで、それとこの作ったものを電子データにして、なおかつ、それは仮想通貨と同じような技術で、これがコピーされずに、これがその唯一のものになる価値を持つものだよというところを結び付けるというのは結構飛躍があったかなというのがあったので、この辺はもうちょっと事前に詰めて、もう1ステップ、2ステップつながれるともうちょっと面白いコラボになったのかなと思っています。手伝っていただいた皆さん、ありがとうございました。

ということで、こちらの報告を終わります。以上です。

○鈴木会長 ありがとうございました。では、このアイデアコンペ、私代表して出ましたので、ちょっとだけお話しします。審査委員の人たちがすごくいい人というか、この人選はすごく楽しかったなと思って、すごくポジティブで優しくて、ストレスのない委員会でした。

やはり291作品集だとすごい数です。審査の前にこの評価の視点というのも委員会で市の提案を基に話し合いました。本当に多様な方から集まってきた完成度の高い提案からラフだけど視点が面白い提案、このアイデアは偏っているのだけれども、提案の中のこの要素はぜひ入れてほしい、という場面もありこうなっていたという感じですね。

委員の先生方はいろいろな視点をお持ちで、例えばツバメのやつ、これ国立駅の駅長さんが入っていたのですけれども、ツバメがやはり帰ってくるための池が必要だという視点をくださったりとか、それで僕もはっとして、池いらない派だったのですけれども、池いるのかと困ったりしたのですが、そんな感じのことをいろいろ楽しくやらせていただきましたけど、賞の優劣をつけず審査をして今後行う、基本設計のプロポーザルのときにも、うまく生かしてくださいというメッセージとしてやりました。

以上です。何かご質問されたいことがありますか。

○磯部委員 はい。まず、11月6日が、ああいうコロナの中でも開放感にあふれて、ものすごく人が来ていました。その中であのラクガキはとにかく、ああいうシンプルなことで、子どもはもちろんだけれども、親御さんにも、「親御さんもいいですよ」とチョーク渡すとうれしそうに一緒に書いたり、テープ貼ったりしていました。やはり僕なんかの子ども頃は道路に落書きするのは当たり前だったのだけれども、今みんなしなくなってしまうと、でも、やっぱりやりたいのだと。恐らくそういうことが、公園に行ってもあんまり子どもがいなくて多いのだけれども、どこか場所があれば、いろいろな遊びをやりたいのだなというのが分かって、本当にシンプルな形でやるというのが意外といいのだなということが分かったので、すごくよかったと思います。

何らかの形で、こんな遊びの場を提供したり、親とか子どもとか、こういったおじいちゃん、おばあちゃんも含めて、昔の遊びをやってみるといっても、何かつないでいけるのではないかなと思いました。

それから、全体的には、途中でお昼を頂くときに、回ってみたりして、前々からこの辺で音を出すことについて近隣からの不平とか出るという話だったのだけれども、いろいろコンサートみたいのをやっていて、それはどういう反応だったのかなと。僕はすごくよかったと思うし、円形公園に入れるようにしたことによって、多分このデザインアイデアコンペの応募も恐らく増えたと思うし、その出た結果も、何となくやはり国立らしいとかノーブルな形のアイデアが集まってきて、やはり国立らしいなと思って、すごくよかった。

こういった非日常は、さっきおっしゃったように、バスとかタクシーとかいろいろなことを考えてやらなければならないし、警備とか、本当に大変だったと思うので、それは本当に敬意を表しながら、でも、この非日常をやはりどうやって、日常まで行かなくても、非日常がもうちょっと頻繁になるようにしたらできるのか、大々的に一日中やらなくても、例えば時間を区切ってやれるようなこととか、コンペのデザインの中に、まさに僕なんかも考えていつか言ったなと思いますけれども、横断歩道をつくってね、渡れるようにすれば行けるのではないかと子どもが描いていた。やはりああいうところに行ってみたいとか、行ったら何か新たな発見が、見えるものが違うとか。シンプルなそういうものが実は喜ばれるし、いいのだらうなと思いました。

あと、これは後の話になるかもしれないのですけれども、さっきのイベントなんかもすごく充実してきているのですけれども、では、ほかとどうやってつなぐか、これから谷保をつないだり、矢川をつないだり、北側をつないだりというのをどうやってやっていけばいいのかというのが、ますます面白くできるのではないかと期待を持たせてくれるような、そんな印象を持ちました。

とりあえず以上です。

○鈴木会長 ありがとうございます。ほかにお聞きになりたいこととか。

○佐藤委員 音に関して、苦情とかどうでしたか。

○事務局 この件に関しては、特に苦情は私のほうにはなかったです。結構前にも大道芸の人がジャンジャン音楽鳴らしたときも、イルミネーションを夜7時から9時ぐらいまでマンション側のほうでやったのですけれども、そのときもなかったので、その一過性のものであって、それがお祭りとしてやっているときは寛容なのかなと。逆に、市のほうに来るのは、選挙の車がうるさいと苦情を受けたりします。あとは、コンサートの際にボリュームはちょっと絞りぎみにはしていましたし、ムサン楽器の方も、音楽に関してはすごく慎重にやっていたころがよかったと思います。

○中村委員 高円寺とか阿佐ヶ谷とか、七夕まつりとかやっていて、それらと今回の天下市・市民祭りを比較すると、国立のイベントは品があると感じました。ごみがなかったという話もあったぐらいだから、そういうのもつながるのかなと。

○宮崎委員 出店に並ぶ人が通路にいて、通りたい人がこの両側の道が通れなくて、本当に通りづらかったと思います。買いたいけれどもすごい行列で、どこまでがどこのお店なのか、下手すると3列とかできてしまっていて、道を塞いでしまうという感じで、もしかしたら出店の数をもっとばらせるみたいなことも必要かなと思いました。

○鈴木会長 歩道が意外と狭いですよね。

○宮崎委員 そうなのですよ。

○鈴木会長 その交通利用調査は結構大事だと思うのですが、周辺に渋滞ができていたということはモニターして、理解できそうですか。

○事務局 そうですね。あと、その当日に全部の交通量調査も併せてやっていたので、そういったデータを基に今後整理をしていくつもりです。

○鈴木会長 ありがとうございます。

そしたら最後の議題とか意見交換と書いてある「今年度／今期振り返り」と「来年度／来期に向けて」ということなので「定着、展開、チャレンジ」といって分けて考えてねということでやって、それを踏まえて来年度どうかという話合いができたらいいかないかなと思いました。

どうでしょう、藤本さん。

○藤本委員 そうですね、ちょっとデザインアイデアコンペの作品に見入ってしまいました。これ、いいですね、子どもの絵がこれだけあって。池とか生き物とか木とか、そっちなのですね。それがすごく出ていいなと思って、新しく何かどーんとかつこうというよりも、そういったものをこの辺に戻ってきて持ってきて、そこかららしさをつくろうというのが感じられて、鈴木先生がすごくよかったと言っている意味がそこだったという気がします。ずっとお話を聞いたり、やらせていただいて、非常にここの駅舎ではいろいろなことを皆さんやられているので、それは継続してやっていくのと、あとはやはり展開でしょうね、次は。前もごみ拾いの話とかランニングの話とかも出ていましたけれども、ここを起点として谷保とか矢川とかという話、そこまで広くというのは難しい部分もあるかと思うのですけれども、もうちょっと広げていくということをやっていくのが次かなという気がします。

○鈴木会長 ありがとうございます。でも、ウォーキングやってくれたのですよね。

○藤本委員 そうなのです、やっているのですね。だから、結構ここを拠点にしているイベントというのも幾つかあったりしているので、それをこの我々のメンバーで今度やってみるというのが次のチャレンジになるのかなという気がしています。

○鈴木会長 ありがとうございます。ほかの方、いかがですか。

○洪委員 さっきのイベントリポートを見ながら、どんなものが多いかなと思ったのですけれども、展示とか音楽がすごく多くて、それは多分、もちろん空間の性質もあるのですけれども、待ち合わせされ方はすごく多いではないですか。そういう方がふらっと来て見たりとか、聞いていかれるという、ものがより頻繁にされているのが2年、3年目になってきていると思っていました。ほかに公益的な活動のいろいろなジャンルのもので、意外に少ないなと思ったのが、子ども対象のものとか、国際協力、あとスポーツ。これは物理的なものが大きいので、旧駅舎の敷地中でスポーツというのは難しいとかいろいろあるのですけれども、来年度、広場のほうで、できると広がるのかなと思いました。

併せて、ちょっと個人的に気になるのは、整備の中で新しくできる施設の1階に子育て支援の公共施設ができるというのを見て、すごく近いではないですか。なので、何かうまく連携するとか、駅前に子育て世帯の人がいっぱい来ると考えると、人の流れも変わるでしょうし、そこを考えて取組を考えてもいいのかなとすごく思いました。あと、もう1個思ったのは、もう予約は満杯だなと思うので、そこへのアプローチではないやり方で何かここを使えないかな、予約しないでできることとか。多分ごみ拾いもそうだと思うのですよ、場所を借りて何日間やるとかではないもの。だけど、ここで生み出したいと思っていた将来につながるようなことというのを、何かうまくできないかなと、何か具体的ではないのですけれども、思いました。

○鈴木会長 僕も、この利活用は、何か定番化してきているところも結構あって、それはそれでいいことなのではけれども、一方で新しいやしたことないことをやってみせるというのを何割か入れておくみたいなのはできるといいなと思いました。

○中村委員 この間のイベントのときに、前ここでやった展示のパネルを円形公園のところに貼ってもらっていて、それを見ている方が結構いたので、それを刷新しようという今、企画が通っていて、いつできるかまだはっきりしないけど、6月ぐらいをめどに何かつくろうかなとは思っています。文化財をどう観光に活かしていけばいいのか自分でも分からなくなっているところがあって、どうやってもなかなか響かないとか、見てもらえないとか、「郷土文化館はそんなところにあるの?」と言われてたりして、我々も駅舎でもうちょっとアピールしていかなければなと思いつつ、なかなかできてないという歯がゆいところもあるところです。

○鈴木会長 そうなのですね、今おっしゃった話で、何がいいか分からないというのと、あと時代で価値観が変わっていくというのはポイントですよ。例えば今回のアイデアを見ていて、木を植えるというのは結構示唆に富んでいて、育つと景観も変わるし、時代によって考え方も変わっていくから、それに対応するような作り方というのは必要ではないかなと。あまりがつつつくってしまうと、10年たって、20年たったら使い方が全然変わってしまうかもしれない。人口の構成も今変わっていますしね。全然昔とは違うのですよね、出会う人の年齢層が。もうそういう時代だから、変わっていてもどうにかやっていけるではないけれども、次の世代がそれをどう変えていくという考えを与えていくのも大事だと思います。

○佐藤委員 話は戻るのですけれども、自分もここ、ふらっと行ったら大体展示か音楽のどっちかやっているという印象なのです。自分はここで待ち合わせとか使わないのです、基本的に。どっか行くときにちらっと来て、さっと去るみたいな感じで利用しています。展示はこう言っては何ですが、うまい展示とよく分からない展示とあって、よく分からない展示だと、そもそもどこから見ればいいのか、何を見ればいいのかというのがすごくバラバラで、大抵俺は興味を持たずに立ち去るのです。だから、それは駅舎側がコントロールできる場所ではないのでしょうかけれども、何らかのフォーマッ

トがあるとすごく安心して見られるかなと思います。

○鈴木会長 何かセンスが問われますよね。

○佐藤委員 そうですね。どこから見始めればいいのか分からない展示がいきなりあったりすると、すごく困るのですよね。何だこりゃみたいなの。

○洪委員 展示備品がイーゼルが基本なのでそうすると余計にやる側のできることが制限されます。貼れない、使えない部分でどうやるかという闘いみたいなの。あと風が結構すごいので、そこも非常に気を遣う点です。

○鈴木会長 宮崎さん、どうぞ。

○宮崎委員 私も委員になってから、昨年からは国立市消防団に、女性消防団に入っているのですが、月に2時間から3時間、市内を循環しているのです、火災予防で。ここからの回遊性をしみじみ、消防団になって国立市内のありとあらゆるところに行くと、なかなか広過ぎるなどと思ひまして、もしかしたら、私たちは線でつなごうと思っていましたけれども、ここから何かダーツで投げるみたいな、ここは矢川、ここは谷保というように何かそういう感じの持っていく方を仕掛けていくのか、旧車祭のときにはバスを出すと聞いているのですけれども、やはり谷保とここまでパレードで見て楽しむという、その途中を楽しませるという演出と、そこまで人も運ぶという送迎があります。広いからそれこそテーマとか何かを決めてダーツを投げるような感じにするのか、やはり商店街とのつながりを考えると、拠点駅舎にして線を広げていくみたいな、そんな活動とこのダーツと両方が必要で何か仕掛けていくと、また3年目、4年目いいのかなと思ったのですけれども。

○鈴木会長 なるほど、ダーツ……。

1回それやってみると、線で届くのはどこまでが限界かみたいなはわかりますよね。

○宮崎委員 そうなのです。そこがやはり私たちが思うより、もしかしたら手前なのかもしれないし、先なのかもしれないです。1回何か来年度やってみたらいいのかなと。

○鈴木会長 何か歩く人とジョギングする人と自転車に乗る人みたいな感じで、一定時間ちょっとずつ回遊してきてくださいと言って、どこまで行けて何ができたかみたいなのを比べたりしても面白いかもしれない。

○磯部委員 今の宮崎さんの話なんかのつながりかなと思うのですけれども、さっきのどうやってつなげていくかという話で、この間のシンポジウムで、「ああ、こういう人がいるのだ」と思ったのが、駅長さん。僕、恥ずかしながら、国立の駅長さんが女性だったというのを知らなかったのですよ。合点がいったのは、国立駅がツバメを大切に始めたのは、本当にここ数年なのです。「こういう女性が駅長だからこうやって変わってきたのか」と合点がたって、これはいいなと。

あと、北口でイベントをやっている。何が言いたいかというと、駅舎のほうの南と北をつないだり、あと矢川と谷保をつないだりというので、駅長さんにもちょっと一役買っていただいて、あとは、この間の円形公園開放のときみたいに、立川バス、京王バスとかタクシーなどの交通機関の方々にも何らかの形で携わっていただいて、一緒に巻き込んでいって。せつかく駅にそういう方がいるので、ほかの駅長さんも巻き込んでやるとかね。

あと、思ったのですけれども、日本は「ここに入らないでくれ」「何々しては駄目です」という看板がいっぱいあるではないですか。いつか、札幌で仕事をしていたときに、あそこは大通り公園で芝生とかあって入り放題なのです。なかなか日本はそういうところがないから、何々をしないでくださいというのをなるべくしないような駅前にしたいですね。寝転がってもいいし、ボール遊びをしても

いいしとかね、その辺の話は最初の頃やったではないですか。そういった夢みたいなのを捨てないで、うまくデザインしていってくれるといいかなと思いました。

プラス、この間、ラクガキやっていたときに、そんなに多くの人ではなかったのですが、チョーク使ったから、「手洗うところないですか」と聞かれたのですね。「ないのですよね」と言って思ったのは、手洗えるところとか水は大切に、神戸では震災の後に、わざわざ井戸を掘って、飲めないけれどもとにかく水を出せるようにしているところが多いのですね。だから、国立市も井戸を掘ってほしいなと思いました。

それともう1つ、JRの話ですけれども、いつか乗って新宿に向かっていたときに、突然車掌さんが駅名のアナウンスだけではなくて、イベントの話をしていたのですよ。だから、何かのときに国立でやるときに、JRにお金払うのだと思うのですけれども、そういうので人を集めるのもできるかなと思いました。

○鈴木会長 バスでも同じではないですか、停留所ごとに広告出しているところの話をするのだと思うのですが、それで地域の紹介みたいなのをに入れてもらったりできないのかなと。ここで降りると面白いのありますみたいなのか。

○磯部委員 それから、もう1つ、いろいろこれから決めていくではないですか。どうしてもお金が必要になる。お金が必要になるのだけれども、そのときに、物によっては寄附を募ったら、国立だったら集まると思う。最初から全部、国立市役所でやるというのではなくて、市民に委ねて、寄附も募ってみんなで作っていくのもありかなというのは、シンポジウムを聞いていて思いました。

○鈴木会長 ありがとうございます。もう時間が来てしまったのですけれども、ありがとうございます。また来年度、今みたいなアイデアを出していければと思います。

事務局の皆さんから、解散する前に、なにかありますか。

○事務局 中村さんにちょっとお聞きしたかったのですけれども、旧駅舎、すごくマンホールカードをもらいに来館される方が多くて郷土文化館でももらえる旨の案内をしているのですがどのくらい増えているか分かりますか。

○中村委員 人数は分からないですけれども、かなり来ている。

○鈴木会長 では、今日はこれで終わりにしたいと思います、いいですか。今期もありがとうございました。また来期も楽しいことができるようにと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

— 了 —